

1. 基礎情報

自治体名	静岡県	
部署名	くらし・環境部県民生活局多文化共生課	
電話番号	054-221-2178	
メールアドレス (※は#に変換してください)	tabunka	※ pref.shizuoka.lg.jp
ホームページ	https://www.pref.shizuoka.jp/kenmin/km-160/yasasi-nihongo.html	



やさしい日本語バッジ(左が外国人用、右が日本人用)

在留外国人数	令和2年6月現在	100,237	人	住民基本台帳人口に占める割合	2.8	%
うち、 <u>在留資格別上位3種類の人数及び在留資格名</u>	1位 (永住者)	38,339	人	2位 (技能実習)	15,520	人
				3位 (定住者)	19,308	人
うち、 <u>国籍別上位3ヶ国の人数及び国籍名</u>	1位 (ブラジル)	31,153	人	2位 (フィリピン)	17,501	人
				3位 (ベトナム)	12,858	人

2. 多文化共生に関する活発な取組や、独自性・先進性のある取組の内容

大分類	コミュニケーション支援	
小分類	行政・生活情報の多言語化、相談体制の整備	
取組のポイント	「やさしい日本語」による情報発信の推進	
具体的な取組内容	<p>静岡県まるごと「やさしい日本語」推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「やさしい日本語」普及啓発 動画「話そうやさしい日本語」の作成、配信。 ・「やさ日富士夫くん」バッジ作成 静岡県における「やさしい日本語」推進のイメージキャラクターとして「やさ日富士夫くん」を作成し、「やさ日富士夫くん」バッジを日本人用、外国人用の2種類作成し、コミュニケーションを促進するための手段として活用。 ・「やさしい日本語」アドバイザー設置 日本語教育学の専門家による「やさしい日本語」の指導・添削。 ・「やさしい日本語」活用研修の実施 行政職員向けとおもてなしのための観光事業者等向けの「やさしい日本語」活用研修を実施する。 ・民間団体等における「やさしい日本語」リーダーの養成 外国人を雇用する企業、宿泊施設、観光事業者、NPO団体、医療現場等の研修担当者などを対象に、社内での「やさしい日本語」研修等を行うスキルを身に付けるための「やさしい日本語」リーダー養成講座を行う。 ・コミュニティFMによる「やさしい日本語」情報発信 災害発生時におけるやさしい日本語による情報発信の体制を構築するために、コミュニティFM局の放送に関わる人を対象に「やさしい日本語」を身に付けるための研修を実施するとともに、防災のための「やさしい日本語」番組を作成し、放送する。 ・「外国人県民への情報提供に関するガイドライン」に基づく情報提供 日本語に不慣れな外国人県民にも、日本人と等しく生活に必要な情報を提供するため、情報の基準や「やさしい日本語」を含めた使用言語について、令和3年2月に策定した。 ・「多言語情報ポータルサイト」の新設 「やさしい日本語」及び多言語で作成した情報を言語ごとに集約し、外国人県民が必要とする情報を容易に得られるようにする。 	